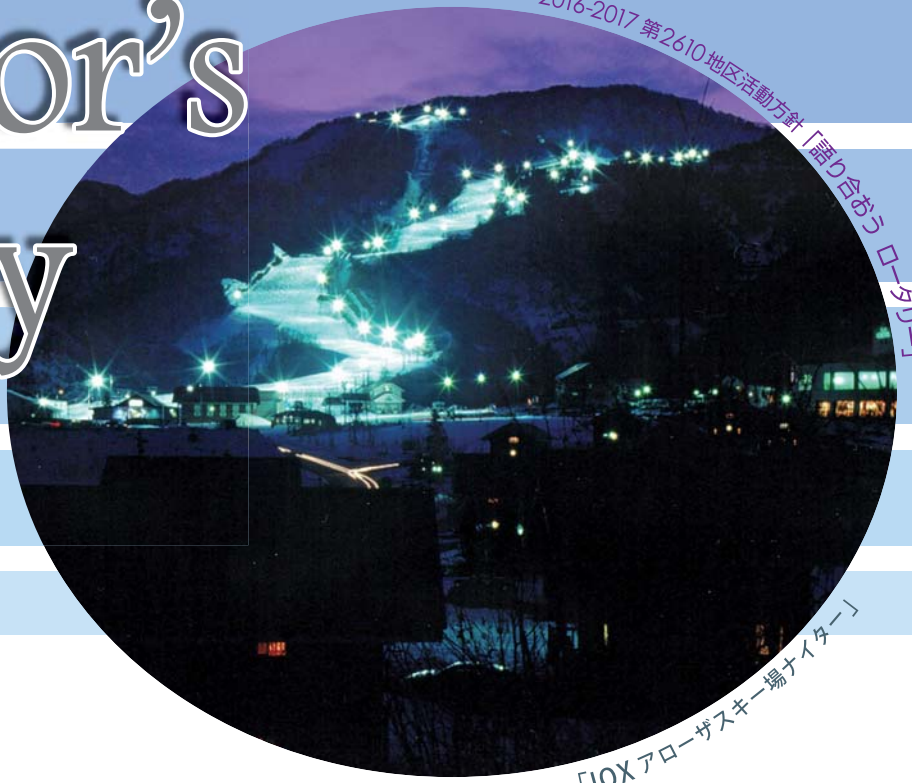


Governor's Monthly Letter

2016-2017 第2610地区活動方針「語り合おう ローターリー」



「IOX アローザスキー場ナイター」



ロータリー考 「例会の頻度」

昨年4月に開催されたRI規定審議会では、時代の変化を反映し、これまでにない大きな規定改正が決定されました。それを受けて昨年12月にクラブの代表にお集まりいただき「規定審議会 定款変更に関する情報交換会」を開催させていただきました。たくさんの議論が交わされましたが、特に関心の高かった「例会の頻度」について、もういちど焦点を当ててみました。まずは4月の規定審議会で審議された「16-21 クラブ例会と出席に柔軟性を認める件」についての提案理由と議論された内容の一部を紹介します。

【趣旨及び効果について】

制定案は、標準ロータリークラブ定款の新しい第7条、第10条、第13条の例外を認め、各ロータリークラブの細則で例会頻度と出席に関する規定を定める場合、クラブに柔軟性を与えるものである。

クラブには以下のオプションが与えられるようになる。

- クラブがいつ、どのくらいの頻度で例会を開くか決める。
- 適切な出席要件を定める。
- 欠席による終結の方針を修正または削除する。

このような柔軟性がないと、ロータリーでは今後、会員基盤の縮小と高齢化が続く可能性があり、会員減少に歯止めがかけられなくなるほど極端な会員構成となる可能性がある。

【賛成意見】

- ・ ロータリーの例会は、親睦を始めとしたクラブ会員が集まり活動する前提で動いているので、明確に2回以上の例会を開催することに問題は無いと考える。柔軟性は「何でもOK」を許すものではない。
- ・ 完全なる自由よりも何らかの制限をすることが大事である。毎週の例会を維持しようとしているクラブには全く関係のない議案であり、新しいクラブが今後どのように「選択」をするかが問題であり、柔軟性を持たせることによってクラブの活力を拡大することが出来るので賛成である。
- ・ 16-21が採択されなければロータリーの未来が危うくなる。試験的プログラムの結果は、柔軟性を与えることで会員の拡大に寄与する結果になっている。地域によってふさわしい例会の開催頻度を実現する柔軟性を与えるべきである。

次ページへ続く⇒

2017.2
vol. 08

Rotary International District 2610



人類に
奉仕する
ロータリー

【反対意見】

- ・ この修正案は他の奉仕団体と同じことになる。ライオンズは月2回の例会をしているが会員数は増加していない。ロータリーは今までの例会を維持するべきである。
- ・ これまで築いてきた価値は「例会」を通して信頼関係、キズナを深めてきた。例会を毎週開催すべきである。

【意見】

- ・ ロータリーの未来を考えるのなら変化を恐れてはいけない。
- ・ クラブの多くは例会を開催していない。
- ・ 長期のパケーションで2ヶ月例会を開催しないクラブが存在する。

一時間にわたる審議の後、採決に入り、本議案は賛成 392 反対 82 で採択され、「例会の頻度は最低月 2 回以上開催しなければならない」に修正されました。

この決定を受けて各クラブでは、クラブ定款及び細則の変更をしなければなりません、過去のロータリー関連の文献で、大変参考になると思われる記述がありましたので紹介します。

(引用文献：深川純一 PDG 純ちゃんのコーナー ロータリー情報)

「毎週一回の定例会の会合」(記事の抜粋)

この例会開催は、シカゴクラブの創立当初は 2 週間に 1 回でしたし、東京クラブでは当初 1 ヶ月に 1 回でした。1922 年の定款改正で、1 週間に 1 回と定められ、それ以降にできたクラブはそれを守っていますが、それ以前にできた、いわゆる特権保有クラブの中には、現在でも 2 週間に 1 回しか例会を開いていないクラブがあります。

またなぜ、「毎週 1 回の定例会の会合」を定めたかについても、いろいろな考え方があります。ロータリーの例会を会員の事業上の発想の交換の場と位置づけ、奉仕の心を学ぶ人生の道場と考えるなら、なるべく多くの例会を開くほうが良いことになるでしょう。しかしこれとて、1 週間に 1 回ならば良いが、2 週間に 1 回では駄目だという理屈にはなりません。

さらに、最近では、例会を「奉仕の心を研鑽する場」という位置付けをする人が減り、参加型クラブという概念も議論されるようになりました。例会参加よりも奉仕の実践の方が大切だと言う考え方です。

ロータリー運動そのものを、弱者に涙する人道的ボランティア活動だと考える人が多くなれば、例会で昼飯を食べている時間があるのなら、額に汗して奉仕活動の実践をすべきだという理屈もまかり通るわけです。

かつては、国際協議会の入り口に大きく、「Enter to learn, go forth to serve」(入って学び、出でて奉仕)と書かれてあったそうですが、昨今は、「Join leader, Exchange idea Take action」と書かれているようです。「社会のリーダーの集まりであるロータリーに加入し、アイデアを交換し、地域や世界のために行動しよう」ということになるのではないかと思います。特に「行動する」と言うところに力点が置かれていると感じるのですが、皆様はいかがでしょう。

上記の内容については 12 月の情報交換会で代表者に周知済ではありますが、あえて月信に掲載いたしました。ロータリアン一人一人の関心が高まり、クラブでの議論が活発になり、よりよいクラブ定款及び細則が制定されることを願います。

時代の変化とともにロータリーに求められる価値観も変化します。またロータリアン個々のロータリーに対する価値観も変わりつつあるように思います。イノベーションを繰り返しながらロータリーは進化しなければなりません。例会はクラブ運営の基礎であり、ロータリアンにとって最も大切な「集い」であると思います。「語り合おう ロータリー」、明日への発展を目指し。

ガバナー 岡部一輝



■ 新クラブ設立 ■

第 2760 地区

【名古屋宮の杜ロータリークラブ】

承認年月日：2016年 12月 5日

創立会員数：30名（男性 30名）

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 1-22-16
ミナミ栄ビル 402号

TEL/052-253-7821 FAX/52-253-7820

例会：第1・第3 木曜日 12:20 ~ 13:30

ウェスティンナゴヤキャッスル

第 2820 地区

【古河東ゆきはなロータリー衛星クラブ】

認可年月日：2016年 12月 13日

創立会員数：10名（男性 7名 女性 3名）

〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木 2408
TEL/0280-55-0208 FAX/0280-55-0208

例会：第2・第4 金曜日 19:00 ~

美容室ルピナス古河西口店

■ 脱会クラブ ■

第 2640 地区 **【堺利晶 RC】**

RI 理事会承認日：2016年 11月 30日

第 2830 地区 **【青森東 RC】**

RI 理事会承認日：2016年 12月 31日

第 2680 地区 **【神戸ハーバー RC】**

RI 理事会承認日：2016年 12月 31日

■ クラブの柔軟性について ■

第 45 回ロータリー研究会においても2016年度規定審議会で制定案として可決されたクラブの柔軟性に関わる事項が取り上げられました。

クラブ例会の柔軟性に関しては

①制定案 16-21 クラブ例会と出席に柔軟性を認める件

②制定案 16-26 例会取消の規定を改正する件

③制定案 16-30 直接あるいはオンラインの両方による例会出席を認めるよう、出席規定を改正する件

などがあります。この度の2クラブ設立においても例会回数を月2回として、早速新制度を取り入れております。

■ 第45回ロータリー研究会に出席して

2016年11月30日から12月1日まで、名古屋のウェスティンナゴヤキャッスルにて678名の参加で開催されました。前々日の28日にはロータリー財団セミナー、前日29日はガバナー会、GETSそしてジョン・F・ジャームRI会長をお迎えしてご夫婦歓迎晩餐会が盛大に行われました。研究会の最大の関心は「これからのロータリーを考えるー規定審議会より見えるものー」。RIの最大目標はポリオ撲滅。その為、又クラブの活性化の為、会員増強が大事になってきます。故に例会の柔軟性、会員身分の柔軟性等が規定審議会で決定したものだと思われれます。ロータリーはあくまでもクラブが基本です。クラブ例会が楽しく癒しの場でなければなりません、そしてクラブ全員が参加できる奉仕活動があるのです。ぜひ戦略計画を理解し、クラブは皆でクラブ目標を話し合い決定することが大事になり、楽しく意義あるクラブ活動が出来るのです。

(第2ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 菅原光志 鎌倉RC)

提言：クラブ運営上の柔軟性導入方法

*「クラブ戦略計画委員会」が、「柔軟性のあるクラブ運営方法」を長期的観点から立案し、クラブ理事会へ諮問する方式が望ましい

*クラブの将来に亘るクラブ運営方法を単年度の理事会が検討し、導入することはロータリークラブの単年度制ガバナンス方式では極めて難しい

あなたのクラブは「柔軟性の導入」を検討しますか？

D2660アンケート調査の結果
(2016年9月地区戦略計画委員会が実施)

- * 導入を検討する： 35%
- * 導入計画なし： 44%
- * 未回答： 20%

ロータリー研究会セッション2で
使用されたスライドから

寄付金速報 — 今年もよろしくお願ひします —

12月までの寄付金は前年同期と比べて6.2%減(普通寄付金 2.1%増、特別寄付金 9.0%減)、約5,600万円の減少となりました。ご寄付をいただきました皆様に厚く感謝申し上げます。さて、「2016年度 下期普通寄付金のお願ひ」をガバナー事務所から各クラブに、また、当会からも1月11日、全ロータリークラブ宛てにEメールを配信しました。普通寄付金は当会事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に、財団法人設立の許可を得た経緯があります。当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年も引き続きご支援賜りますようよろしくお願ひいたします。

2017-18年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

12月13日、2017-18年度の地区米山記念奨学委員長を対象とした第1回セミナーを開催しました。午前、小沢一彦理事長からのあいさつに続いて、安増惇夫理事(第2700地区)による講義・全体会議「米山奨学事業の疑問に答える」が行われました。事前アンケートの結果をもとに参加者の意見を引き出しながら進められ、大変好評でした。午後は、特色ある取り組みについての事例研究と、「奨学事業全般」「理解促進から寄付増進へ」「共に学ぶ事業」「多様な国からの採用」の4テーマに分かれて、グループディスカッションが行われました。終日にわたる盛りだくさんのセミナーでしたが、講師、参加者の皆さまのご協力により、各地区の経験や情報を共有する有意義な機会となりました。参加者アンケートからも、「全てが参考になり良かった。まねることから始めて、より良い委員会運営を目指したい」「米山奨学事業の目指すところ、意義について改めて認識を深めることができた」「委員長の役割が分かった。学友会も大切にしたい」などの声をいただきました。終了後の懇親会では、地区を越えた委員長同士のネットワークづくりを図っていただき、「米山〇×クイズ」でさらに知識を深めていただきました。第2回セミナーは、5月31日に開催予定です。



ご寄付の確定申告用領収書について

～1月末日までにクラブへお届けします～

昨年1年間(1～12月)に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに(確定申告に間に合うように)、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。



「高岡市 歯と口腔の健康プロジェクト」開催

6RC (高岡・高岡万葉・射水・新湊・新湊中央・東となみ) 共同プロジェクト報告

2001年11月、東となみロータリークラブの前身「井波庄川ロータリークラブ」のジョイントイベント「いい歯の日キャンペーン」が、砺波ジャスコ店で初めて行われました。この事業は砺波地方の幼児を対象とした、むし歯予防対策の為にフッ化物洗口の普及と、砺波野の水道水フッ化物濃度の実現を目指して開催されました。時を重ねること15年、保育園や障害者施設、ショッピングセンターなどでの啓発活動は30回を超え、今年のイオンモール高岡での開催で32回目となりました。砺波地方では保育園や小中学校の全施設でフッ化物洗口が実現し、子どもたちのむし歯予防に大いに役立っております。その間、国や県でも、皆さんが生涯にわたって美味しく物が食べられるよう、歯と口腔の健康づくりのための、法律や条例が制定されました。

そんな中で、砺波地方や射水市のようにフッ化物洗口の進んだ地域と、高岡市などそうでない地域に、少しずつ歯の健康格差が現れ始めました。富山第三分区では、2015-16年度池田ガバナー補佐から、2016-17年度上田ガバナー補佐への引継ぎにあたって、この歯の健康格差に対する問題提起が為され、分区の継続課題として引き継がれました。

上田ガバナー補佐は、当クラブの予防活動に注目し、多クラブ共同での活動を発案し、今年度(2016-17年度)は、フッ化物によるむし歯予防の教科書を高岡市内の保育園に贈呈するとともに、併せて講演会を企画することになりました。

2016年10月12日、富山第三分区上田ガバナー補佐の主導のもとで、「高岡市歯と口腔の健康プロジェクト」と題し、ウィングウィング高岡で歯科保健講演会が開催されました。本講演会は分区内6RCの共催事業として実施され、県や高岡市歯科医師会、高岡市子ども・子育て課の後援を受け、50名を超える保育関係者が参加されました。さっそく年度内にフッ化物洗口の実施にこぎつけた保育園も現れました。

次年度以降は分区の垣根を超え 富山第四分区の高岡西・高岡北の2RCの参加も予定され、学校関係

への啓発普及を目指して事業を継続します。さらに、呉東地区や石川県のフッ化物洗口未実施地区にまで、この活動が展開されれば、1クラブの活動が分区に広がり、さらに2610地区の大きな輪になる夢がかなえられると思います。



例会出席報告 (12月分)

2016年12月末日現在

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)			分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)							
						期初	月末	増減							期初	月末	増減					
石川第1分区A	河 北	81.33	36	82.49	34	24	25	1	富山第1分区	朝 日	76.39	47	67.68	61	25	24	-1					
	河 北 南	66.67	59	79.10	42	16	21	5		黒 部	78.63	41	72.53	58	15	17	2					
	金 沢	90.20	15	90.15	13	112	119	7		黒部中央	82.14	33	81.95	36	20	21	1					
	金 沢 東	82.00	34	86.90	23	98	102	4		滑 川	57.50	63	74.30	55	5	2	-3					
	金沢香林坊	75.05	50	81.87	38	111	111	0		入 善	71.88	54	75.29	53	9	7	-2					
	金 沢 南	90.11	17	93.26	6	55	57	2		宇 奈 月	70.18	58	63.23	64	19	19	0					
	6 R C	80.89	6	85.63	3	416	435	19		魚 津	80.17	39	79.48	41	32	32	0					
石川第1分区B	白 山	72.47	53	76.70	50	33	36	3	魚 津 西	76.78	46	73.48	56	30	29	-1						
	白山石川	86.96	24	83.27	33	33	32	-1	8 R C	74.21	9	73.49	9	155	151	-4						
	金沢百万石	63.98	61	64.42	63	46	46	0	富山第2分区	越中八尾	96.96	5	98.73	3	21	22	1					
	金 沢 北	75.22	49	77.10	47	47	50	3		上 市	83.49	29	80.33	40	21	19	-2					
	金沢みなと	88.46	19	82.40	35	41	41	0		立 山	62.74	62	65.19	62	17	17	0					
	金 沢 西	91.09	11	90.17	12	50	54	4		富 山	77.62	43	78.24	44	95	98	3					
	野々市	87.19	23	85.74	28	40	40	0		富山シティ	57.08	64	62.36	65	78	79	1					
	7 R C	80.77	7	79.97	7	290	299	9		富 山 南	77.73	42	74.83	54	58	58	0					
石川第2分区	加 賀	90.57	14	89.62	16	49	53	4		富山みらい	75.31	48	78.57	43	80	80	0					
	加賀中央	91.09	11	88.49	20	33	34	1		富 山 中	83.51	28	81.94	37	59	60	1					
	加賀白山	83.07	31	86.50	25	29	31	2	富 山 西	97.46	4	95.77	5	63	64	1						
	小 松	77.13	44	77.25	46	57	56	-1	富山大手町	70.85	55	76.73	49	48	50	2						
	小 松 東	80.81	37	83.48	32	33	35	2	10 R C	78.28	8	79.27	8	540	547	7						
	小松シティ	81.72	35	84.55	30	30	31	1	富山第3分区	射 水	90.89	13	90.98	9	28	29	1					
	能 美	87.72	20	86.88	24	57	58	1		東となみ	80.40	38	81.48	39	20	21	1					
	山 中	78.94	40	76.47	51	20	19	-1		新 湊	87.60	22	85.77	27	43	43	0					
8 R C	83.88	3	84.15	5	308	317	9	新湊中央		66.66	60	71.68	59	15	14	-1						
羽 咋	85.58	25	90.08	14	27	26	-1	高 岡		100.00	1	100.00	1	68	74	6						
中能登まほろば	77.02	45	78.01	45	18	16	-2	高岡万葉		97.71	3	98.20	4	75	76	1						
中 島	91.66	9	90.84	10	9	10	1	砺 波		89.67	18	90.55	11	49	52	3						
七 尾	70.74	56	72.86	57	51	51	0	7 R C		87.56	1	88.38	1	298	309	11						
石川第3分区	七尾みなと	82.22	32	88.60	19	45	46	1	富山第4分区	氷 見	84.52	27	87.57	21	41	42	1					
	志 賀	87.72	20	86.07	26	19	19	0		氷見中央	47.22	65	68.00	60	13	13	0					
	富 来	73.50	52	75.93	52	15	16	1		南 砺	90.12	16	89.56	17	52	51	-1					
	7 R C	81.21	5	83.20	6	184	184	0		小 矢 部	93.83	7	90.99	8	38	39	1					
	穴 水	75.00	51	87.55	22	14	14	0		小 矢 部 中	91.19	10	92.50	7	43	43	0					
	能 都	91.69	8	89.49	18	37	37	0		高 岡 北	84.97	26	84.93	29	42	42	0					
	珠 洲	83.34	30	83.77	31	27	25	-2		高 岡 西	100.00	1	100.00	1	61	62	1					
石川第4分区	内 浦	70.42	57	77.06	48	16	16	0	7 R C	84.55	2	87.65	2	290	292	2						
	輪 島	94.62	6	90.07	15	31	31	0	65RC合計							81.60	／	83.04	／	2,606	2,657	51
	5 R C	83.01	4	85.59	4	125	123	-2														

R財団・米山記念奨学会 寄付者

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

徳田八十吉 12月27日 小松 2回
 町野利道 12月13日 富山 1回
 桶谷篤生 11月30日 南砺 1回
 牧千収 11月30日 南砺 3回
 藤田誠 11月30日 高岡北 1回
 紺谷司郎 11月30日 高岡北 3回

ポール・ハリス・フェロー

古瀬喜八郎 11月30日 南砺

米山功労者 メジャードナー

酒井正人 12月14日 富山 11回

米山功労者 マルチプル

多田茂 12月14日 白山石川 3回
 湯浅幹也 12月19日 小松 7回
 山本倫郎 12月26日 富山みらい 6回
 西尾公秀 12月21日 富山みらい 2回
 佐藤英敏 12月7日 氷見中央 2回
 在田吉保 12月8日 高岡西 8回
 金森勇四郎 12月8日 高岡西 8回
 小川誠之 12月8日 高岡西 8回
 阪口政博 12月8日 高岡西 7回
 杉本友夫 12月8日 高岡西 7回
 平田俊一 12月8日 高岡西 6回
 河合雄一 12月8日 高岡西 5回
 宮脇茂 12月8日 高岡西 4回
 千田敏勝 12月8日 高岡西 4回
 島竜彦 12月8日 高岡西 4回
 清都康介 12月8日 高岡西 3回
 中村春夫 12月8日 高岡西 3回
 浅野博 12月8日 高岡西 2回
 不破崇之 12月8日 高岡西 2回
 岡崎照雄 12月8日 高岡西 2回

竹内隆 12月8日 高岡西 2回
 山田正博 12月8日 高岡西 2回

米山功労者

木下敬夫 12月27日 七尾みなの 1回
 山崎重夫 12月14日 射水 1回
 税光信作 12月15日 南砺 1回
 古瀬喜八郎 12月15日 南砺 1回
 定塚康宏 12月8日 高岡西 1回
 車信 12月8日 高岡西 1回
 松崎雅子 12月8日 高岡西 1回
 野澤朱美 12月8日 高岡西 1回
 小竹秀子 12月8日 高岡西 1回
 大原弘之 12月8日 高岡西 1回
 山崎規 12月8日 高岡西 1回

クラブ扱い特別寄付

(株)キタイチ 10万円 富山ティアー 12月26日

会員異動 (入会・退会)

◆入会◆

浅野達也 12月5日 金沢東
 齊藤利明 12月13日 金沢南
 浦田哲郎 12月1日 金沢百万石
 小浦勇一 12月1日 金沢百万石
 吉田尚弘 12月16日 金沢西
 徳田満 12月14日 加賀中央
 奈良泰志 12月6日 志賀
 高野早苗 12月1日 黒部
 宇高秀樹 11月8日 富山
 井上かおり 12月22日 富山西
 上田好一 12月13日 小矢部

◆退会◆

寄留 令子 12月31日 (仕事上の都合) 河北南
 太田 有彦 12月28日 金沢東
 小山 信 12月31日 (一身上の都合) 金沢香林坊

大川兼紀 12月31日 (一身上の都合) 金沢香林坊
 木場紀子 12月15日 (家庭の事由) 金沢百万石
 二木秀樹 12月15日 (健康上の事由) 金沢百万石
 中田正人 12月31日 (一身上の都合) 金沢みなの
 瀬尾明美 12月31日 (一身上の都合) 白山
 木村博美 12月31日 (一身上の都合) 白山石川
 東出清志 12月31日 (一身上の都合) 加賀
 野尻順滋 12月31日 小松
 八野田秀平 12月7日 (一身上の都合) 中能登まほろば
 定塚修 12月27日 (一身上の都合) 中能登まほろば
 田中一年 11月30日 (転勤の為) 志賀
 春木謙吉 12月31日 (一身上の都合) 輪島
 深海正樹 12月26日 (一身上の都合) 滑川
 上田 齊 12月28日 (一身上の都合) 入善
 新野景三 12月31日 (病氣療養) 上市
 碓井敏彦 12月31日 (病氣療養) 上市
 米屋保雄 12月31日 (一身上の都合) 富山ティアー
 茂住延壮 12月31日 (一身上の都合) 富山南
 稲塚由希子 12月31日 (健康上の事由) 富山みらい
 折橋雅仁 12月31日 (会社の都合) 新湊中央
 北村英基 12月26日 (一身上の都合) 高岡万葉
 荒野千恵人 12月5日 (一身上の都合) 高岡北

ご冥福をお祈り致します



新庄寿一 (滑川)

12月16日 (享年69歳)
 ロータリー在籍19年
 2014~15年度
 富山第1分区分ガバナー補佐



高緑不二子 (滑川)

12月31日 (享年66歳)
 高緑海産機 代表取締役
 ロータリー在籍20年
 2015~16年度会長

国際ロータリー2610地区 ロータリー財団ニュース 12月号 より抜粋

ロータリー財団学友会報告会・交流会が 11月26日(土)12時から都ホテルに於いて開催されました。

2610地区関係者・学友会・富山大学 総勢25名が集い、岡部ガバナーの挨拶、山本学友会長の乾杯で賑やかに会は始まりました。

富山大学の和漢医薬学総合研究所の柴原教授から来年2月からグローバル補助金奨学生として南フロリダ大学のMorsani Collegeへリンパ浮腫に着目し漢方薬の有効性を解析する研究で留学する富山大学の和漢医薬学総合研究所の条美智子先生の紹介が行われました。

その後、皆さんの近況報告が行われロータリー奨学生としての経験が人生の大きな節目になったことや、今後ロータリーのためにお役に立ちたいというお声をかけて頂きたいという旨のご挨拶を沢山の方から頂きました。

財団委員会に携わる者として奨学生の皆さんがロータリーを通じて新しい輪を広げていく場に立ち会えることは大変嬉しく感じました。

今回から3年前の新しい制度のグローバル補助金で奨学生になられた金沢大学の遠山先生、富山大学の久保山先生も参加されました。今まで以上に地域社会に寄添うロータリー財団のグローバル補助金奨学生の意義も大いに感じる事ができ、素晴らしい報告会・交流会になりました。

下口ガバナーエレクトの「皆さんの志をロータリーだけでなく社会のために役立てて下さい」という閉会のご挨拶で和やかに会は終了いたしました。

ますますの学友会関係者のご活躍をお祈り申し上げご報告とさせていただきます。



2月行事予定表 〈平和と紛争予防/紛争解決月間〉

	地区補助金申請受付開始	
4日(土)	第3回地区ロータリー財団委員会地区補助金セミナー	金沢
"	第3回地区社会奉仕委員会	石川県地場産業振興センター
11日(土)	石川第3分区 IM	ホスト:七尾RC 和倉温泉「加賀屋」
12日(日)	次期ガバナー補佐会議	加賀
18日(土)	第3回地区財務・監査合同委員会	
"	地区ロータリー米山修了者・歓送会	ニューオータニ高岡
19日(日)	地区国際青少年交換派遣学生オリエンテーション(第3回)	金沢
"	次期チームリーダー研修会	ホテルアローレ
"	第3回インターアクト海外事前研修	金沢
23日(木)	富山第2分区 IM	ホスト:富山中RC ホテルグランテラス富山
25日(土)	第2回諮問委員会	ニューオータニ高岡
26日(日)	富山第3分区 IM	ホスト:射水RC 小杉カントリー倶楽部

文庫通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

(352号)

《忘れ得ぬロータリアン》

◎「父 北島亘とロータリー」	北島メリー・エミ	1963	3p
◎「大夢翁 土屋元作」	日出 R. C. 編	1996	199p
◎「井坂孝の足跡」	鈴木清次編著	2009	221p
◎「村田省蔵の思い出」	伊藤武雄	1963	3p
◎「父 朝吹常吉を憶う」	朝吹英一	1963	4p
◎「父 市左衛門を憶う」	森村義行	1963	4p
◎「真のロータリアン平沼亮三」	上野 健	1963	4p
◎「父 岡崎忠雄の面影」	岡崎 忠	1963	4p
◎「星野行則翁の思い出」	磯野 巖	1963	4p
◎「宮脇 富パストガバナーを偲んで」	東ヶ崎 潔 他	1968	13p

[上記申込先: ロータリー文庫]

【ロータリー文庫】 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 [開館] 午前10時～午後5時 [休館] 土・日・祝祭日
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

編集後記

例年、正月前後はロータリー活動も一休みといったところで、2月号の記事探しに苦慮していたところに、ロータリーの友1月号で第3分区の合同事業の記事を拝見しました。

早速東となみRCの山本会長に寄稿をお願いしまして、急ぎよ掲載させていただきました。

従いまして「友」と重複する部分がありますがご容赦ください。

この事業は東となみRCさんが地道に継続されていた事業で、15年の歳月を経てクラブの枠組みを超え第3分区へ、さらに分区の垣根も取り払い、地区全体へ広がり始めようとしています。私たちが取り組んでいるロータリーの活動の中で、継続事業というのはクラブ単位で継承されていくのが常で、このように、一クラブの活動が他のクラブに広がっていくのは極めてまれで、なおかつ画期的なことではないでしょうか。縦の糸と横の糸がうまく絡み合い、活動の輪が広がることを願ってやみません。

月信担当地区副幹事 久 恵 龍 三

お詫びと訂正

ガバナー月信1月号6ページに記載されております「会員移動の入会」内に誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

(誤)金沢みなと 塩本 亘様 11月2日
(正)河 北 塩本 亘様 11月2日

《表紙写真解説》「IOXアローザスキー場の夜景」

IOXアローザスキー場は今年で開場26年目になります。30年以上前になります旧福光町のとある団体が町内の小学生を対象に「未来の福光」と題して絵画コンクールを開催したところ、冬の医王山がナイター照明で光り輝く作品が何点もありました。まさに子供たちの夢が現実となったわけです。近年は雪不足のため経営的には苦戦が続いているらしいですが、今日も子供たちの歓声がゲレンデにこだまっております。

○写真提供: 三吉外男会員(南砺RC写真同好会)



国際ロータリー第2610地区

2016-2017年度 ガバナー事務所

〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4

南砺市福光会館2F

TEL:0763-58-5610 FAX:0763-58-5611

E-mail:okabe16-17@rotary2610.com